

見える化から始まる効率的プラント運用

～プラント・機器の状態把握からノウハウ継承まで～

IONL

Industrial
Open-Network
Laboratory



FIELDCOMM GROUP
JAPAN



スマート製造とフィールド情報 ユーザセミナー2026 @早稲田大学

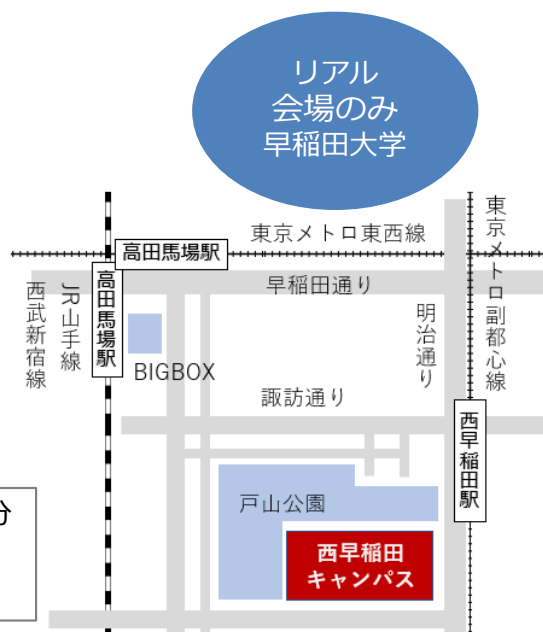
製造業の現場では、設備やプラントの効率的な運用がこれまで以上に求められています。本セミナー「スマート製造とフィールド情報ユーザセミナー2026」では、早稲田大学を会場に最新の技術動向と活用事例をご紹介します。テーマは「見える化から始まる効率的プラント運用」。フィールド情報よりプラントや機器の状態をより正確に把握しプラント運転効率の向上につなげるヒントや、そこから得られるノウハウを継承するためのアプローチをご紹介します。さらに、各種セッションでは各種フィールド通信技術をどのように使用するのか、次世代のスマート製造を支える取り組みについても取り上げます。製造現場での課題解決に直結するヒントが得られる貴重な機会です。

今年もスポンサー各社によるテーブルトップ展示を実施しますので、ぜひこの機会にご来場ください。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

2026年3月5日(木) 9:30～17:00 (予定)
昼休み12:05～13:00

- 受付: 9:15～
- 参加費: 無料
- 会場: 早稲田大学 西早稲田キャンパス (定員100名)
東京都新宿区大久保3-4-1
- セミナー会場 : 63号館 2階 03会議室
- デモ展示 : 63号館 1階 情報ギャラリー
- 懇親会 : 63号館 1階 ロームスクエア
- アクセス

JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線 高田馬場駅下車徒歩15分
東京メトロ副都心線 西早稲田駅下車 出口3すぐ
<https://www.waseda.jp/fsci/access/>



以下リンクよりお申込みください。

https://wasedaunivcampus.au1.qualtrics.com/jfe/form/SV_6DTYFjEgUUCpXoO

(会場)

参加費
無料



主催: 産業用オープンネットワーク・ラボラトリ

(<http://www.amano.mech.waseda.ac.jp/hp/research/ionl/>) E-mail: ionl_office@power.mech.waseda.ac.jp

共催: 早稲田大学理工学術院総合研究所

NPO法人 日本フィールドコムグループ (Mail: FCGJ-info@fcg-japan.onmicrosoft.com)

※お問い合わせは
左記共催団体まで

スマート製造とフィールド情報ユーザセミナー2026@早稲田大学

見える化から始まる効率的プラント運用

～プラント・機器の状態把握からノウハウ継承まで～

時間	タイトル	内容
9:15～9:30	受付	
9:30～9:35	全体説明	
9:35～9:40	開会あいさつ (早稲田大学教授 天野 嘉春)	IONLの活動の紹介をします
9:40～10:25	通信技術を活用したプラント、 機器の状態把握	近年、プラントの効率化・安全性向上・予知保全の実現には、フィールド機器から得られる情報の高度活用が不可欠となっています。本セミナーでは、既存の通信技術である HART および FOUNDATION Fieldbus (FF) の機能を最大限に活用することで、設備の状態把握や運転最適化にどのように寄与できるのか具体的に解説します。
10:25～11:10	ITとOTをつなぎ、産業ドメインを越えるOPC UAの可能性 (日本OPC協議会様 ご講演)	調整中
11:10～11:20	休憩	
11:20～12:05	プラント効率化に向けた統合エンジニアリング	プラントのライフサイクルにおいて、設計から運転・保守に至るまでの統合エンジニアリングは、生産性向上とコスト削減、さらには持続可能な運用の実現に不可欠です。本セミナーでは、国際標準化が進む FDI(Field Device Integration) 、 FDT(Field Device Tool) 、 PA-DIM(Process Automation Device Information Model) を取り上げ、フィールド機器の情報統合と活用の最新動向を紹介いたします。
12:05～13:00	昼休憩	
13:00～13:30	スポンサー各社発表	※スポンサー会社の参加数により時間が変動がします。
13:30～14:15	マイクロフェア見学+休憩	1階 情報ギャラリー
14:15～15:00	Ethernet化がもたらすスマート フィールドの未来	Ethernet-APL がもたらすスマートフィールド機器の実現と、そのメリット（高帯域通信・シンプルなインフラ・診断機能の高度化）を解説します。また、国際的な動向や実証事例を交え、今後のプラント設計・運転・保守の在り方にどのような変化をもたらすのかを紹介いたします。
15:00～15:45	欧米ユーザ団体がもたらすプラ ント変革事例	NAMUR 及び OPA-F の動向を整理し、既存システムからの移行や導入のステップ、期待されるメリットについて解説します。さらに、グローバルな事例を交えながら、日本のプラント業界における展開の可能性を紹介いたします。
15:45～16:00	休憩	
16:00～16:45	Panel Discussion	
16:45～	Closing 後 懇親会	1階 ロームスクエア